

ふりがな 氏 名	いりぐち あい 入口 愛	職 名	講師
取 得 学 位	修士(教育学)	学会での受賞歴	なし
主な担当科目	文章表現法、子どもの言葉、保育内容演習(言葉)、保育内容の理解と方法(言語)		
所 属 学 会	日本児童文学学会中部支部(運営委員平成27年4月～現在に至る)、日本保育学会、日本児童文学学会(運営委員(中部)令和3年12月～現在に至る)、日本美術教育学会		

◆ 教育業績

事 項	実 施 年月(日)	概 要
社会への関心を高めるために新聞を利用したワークの実施	平成31年4月～令和元年9月	令和元年度名古屋女子大学短期大学部保育学科「文章表現法」を受講する学生の社会に対する関心を高めるために、新聞ワーク(学生が新聞記事を1つ選び、その記事に関する読解問題および語彙問題を作成し、クラス全員が問題を解く)を取り入れた。
保育現場における実践力を高めるためのグループワークを実施	平成29年4月～平成31年4月 平成31年4月～	平成29年度文学部児童教育学科児童教育学専攻「幼児の言葉(指導法)」、幼児保育学専攻「保育の表現技術Ⅰ(言語表現)」、平成31年名古屋短期大学部保育学科「保育内容の理解と方法(言語)」、「保育内容演習(言葉)」を受講する学生が保育現場で実践的な活動ができる目的で、グループワークを用いて絵本や紙芝居等の実践を実施している。
教材研究(絵本、楽器)を通して子どもの豊かな表現を引き出すための取り組みを実施	令和4年9月～	令和4年度短期大学部保育学科「総合表現演習」では、卒業学年を対象に楽器を用いた絵本の読み聞かせや紙芝居の上演を指導した。絵本等にあるオノマトペや絵本のページから想像する音を楽器で表現することにより子どもの豊かな表現を引き出すために何が必要かを考えられるよう指導をおこなった。
「教育実習」におけるふり返りを文集にする取り組みを実施	令和4年9月～	「教育実習」の事後指導として実習をふり返し、そのふり返りを例年冊子にしている。学生は実習をふり返し文章化することで、達成できたことや課題を客観的に捉えることができている。また、冊子を次年度以降に実習に臨む学生にも配付することで、事前準備に役立つ教材として活用することができている。

◆ 研究業績

区分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発行・ 発表 年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
著書	教職・保育職シリーズ 5 教育・保育の新視点 (ISBN978-4-86487-845-6)	共	平成 30 年 3 月	三恵社	著者: 荒川志津代、市村由貴、伊藤充子、稲木真司、 <u>入口愛</u> 、大鐘啓伸、小椋郁夫、加藤佳代子、門松愛、國京恵子、倉田梓、榊原剛、佐々木基裕、渋谷寿、杉原央樹、高橋哲也、竹内正裕、坪井眞里子、豊永洵子、服部幹雄、早川由美、古田直子、堀由里、眞崎雅子、松下明生、谷田育代、山本忠、吉田文全 313 ページ中、第3部第5章「子どもの言葉を豊かにする実践を考えるー「幼児の言葉(指導法)」における“かるた”制作からー」(p. 201-210)を執筆
	教員免許状更新講習の理解を深めるための教育・保育の論点ガイド No.3 (ISBN978-4-86487-911-8)	共	平成 30 年 7 月	三恵社	著者: 荒川志津代、市村由貴、 <u>入口愛</u> 、大鐘啓伸、大曾基宣、小椋郁夫、門松愛、國京恵子、榊原剛、佐々木基裕、渋谷寿、杉原央樹、高橋哲也、Douglas Jarrell、竹内正裕、豊永洵子、羽澄直子、服部幹雄、榊川知、村田あゆみ、山本忠、吉川直志、吉田文、吉村智恵子 全 202 ページ中、第3章第4節「保育内容「言葉」における子どもと本をつなぐ取り組みー幼年童話の役割ー」(p.186-192)を執筆
論文	領域「言葉」にかかわる具体的な保育を考えるー絵本の読み聞かせの部分指導案作成の実践からー	単	平成 30 年 2 月	名古屋女子大学文学部 児童教育学科『教育・保育モノグラフNo.2 学びの循環』	p. 200-209
	自己と故郷とをめぐる物語ー広津和郎「白鳥になった王女の物語」を読むー	単	令和 3 年 3 月	愛知教育大学大学院国語教育専攻『国語研究』第 29 号	p.23-30
	三つの「鼻」をめぐってー芥川龍之介・宇野浩二・広津和郎ー	単	令和 4 年 11 月	日本児童文学学会中部支部『児童文学論叢』第 22 号	p.39-50

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行・ 発 表 年 月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
その他 (報告書)	【研究ノート】相馬泰三におけるゴ ーゴリ「鼻」の再創造―「鼻のゆく へ」と「鼻のなくなった話」	単	平成 29 年 11 月	日本児童文学学会 中部支部『児童文学論 叢』第 20 号	p. 20-34
	『赤い鳥事典』「広津和郎」	共	平成 30 年 8 月	柏書房	「広津和郎」の項目(p.209)を担 当
	【研究発表】「三つの〈鼻〉をめぐっ て―芥川龍之介、宇野浩二、広津 和」	単	令和 3 年 9 月	第 96 回 日本児童文学 学会 中部例会 研究発 表	